

平成30年度 第 1 回 横浜市外郭団体等経営向上委員会会議録	
日 時	平成30年 6 月 5 日 (火) [15 : 00~16 : 00]
開催場所	戸塚公会堂 2 号会議室
出席者	大野委員長、遠藤委員、大江委員、鴨志田委員、田邊委員
欠席者	なし
開催形態	公開 (傍聴 0 名)
議 題	<p>[議題 1] 平成29年度 総合評価の所管局・団体振り返りについて</p> <p>[議題 2] 平成30年度経営向上委員会の運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期協約等</li> <li>・団体視察</li> <li>・委員会での説明方法</li> </ul>
決定事項	・平成30年度経営向上委員会の運営について必要に応じて調整をすることとするが、概ね了承。
議 事	<p><b>1 開会</b></p> <p>大野委員長      それでは、平成 30 年度第 1 回横浜市外郭団体等経営向上委員会を開催します。</p> <p>事務局            はじめに、運営に関して事務局から説明をお願いします。</p> <p>石川しごと      本日は平成 30 年度の第 1 回目の委員会ということで、初めにしごと改革室長の石川より一言申し上げます。</p> <p>改革室長          &lt;しごと改革室長から挨拶&gt;</p> <p>事務局            続きまして、本委員会の運営について御説明します。</p> <p>                      まず、会議の公開・非公開についてです。</p> <p>                      本委員会は、横浜市附属機関の会議の公開に関する要綱に基づき、原則公開となります。また会議録も後ほど公開となります。</p> <p>                      次に、定足数の確認です。本日は全員御出席ですので、委員会条例第 7 条に定める半数以上の出席となっており、定足数を満たしています。事務局からの説明は以上です。</p>

	<p>大野委員長</p> <p>事務局</p> <p>大野委員長</p>	<p>2 [議題1] 平成29年度 総合評価の所管局・団体振り返りについて</p> <p>それでは本日の議題に入りますが、皆様に御意見を伺いながら進めていきたいと思いを。</p> <p>議題1の平成29年度 総合評価の所管局・団体振り返りについて、事務局から報告をお願いします。</p> <p>御報告します。資料は「平成29年度総合評価 振り返り結果一覧」になります。資料を事前にお送りしているため、個別の団体の内容については省略させていただきます。</p> <p>昨年度答申をいただきました29年度の総合評価については、平成29年11月20日付で答申としていただいています。各団体について委員会の助言として意見をいただいております。その意見に対する所管局・団体の振り返りについて、平成29年12月に行われました横浜市会に、総合評価とあわせて振り返りを報告しています。各団体とも委員会の助言を踏まえて今後取り組んでいくというような内容で振り返りがされています。</p> <p>報告は以上です。</p> <p>振り返り結果一覧を御覧いただき、今後の議論に反映させていきたいようなことがありましたら、御意見いただければと思います。何か御質問はありますか。</p> <p>肯定的な振り返りが行われていますが、これは次期協約策定の際に御参考にしていただければと思います。</p> <p>御質問等無ければ次の議題に入ります。</p>
	<p>大野委員長</p> <p>事務局</p>	<p>3 [議題2] 平成30年度経営向上委員会の運営について</p> <p>(1) 次期協約等</p> <p>議題2の平成30年度経営向上委員会の運営について審議を始めます。</p> <p>(1)の次期協約等について事務局から説明をお願いします。</p> <p>資料は「審議方法(案)及び団体視察実施状況一覧」です。平成30年度は外郭団体37団体のうち30団体で「団体経営の方向性及び協約」を策定する年度となっています。各団体の次期協約等の策定については、昨年度と同様、本市から経営向上委員会に諮問させていただき、9月から11月にかけて御審議いただきたいと考えています。本日はその9月から11月の委員会において、所管局・団体に当委員会に出席いただいた上で審議すべき団体を決定させていただきたいと考えています。</p> <p>本日の審議を円滑なものとするため、事前に大野委員長に御相談し、たたき台として案をお示ししたものが先ほど御案内した資料です。資料を御覧ください。「30年度所管課等出席(案)」の欄</p>

	<p>に○がついてある 15 団体が、委員会に出席いただき審議を実施していただく団体案です。選定した理由について御説明します。</p> <p>今年度協約を策定する 30 団体を基本としています。30 団体のうち団体経営の方向性が「民間主体への移行に向けた取組を進める団体」の 2 団体、NO. 30 の(株)横浜港国際流通センター、NO. 33 の横浜ベイサイドマリーナ(株)、団体分類が「事業の再整理・重点化に取り組む団体」の 4 団体、NO. 3 (公財)横浜市体育協会、NO. 9 (公財)横浜企業経営支援財団、NO. 17 (公財)よこはまユース、NO. 24 横浜市住宅供給公社の 4 団体を候補としています。</p> <p>「民間主体への移行に向けた取組を進める団体」である NO. 12(株)横浜インポートマートについては、団体経営の方向性を実現するための取組の検討が具体的であるため、候補から外しています。</p> <p>30 団体のうち残りの 23 団体については、団体経営の方向性が「引き続き経営の向上に取り組む団体」になります。そのうち、昨年度当委員会に出席いただいた団体を除き、28 年度、29 年度の当委員会で意見が相対的に多かった団体を選定しています。</p> <p>また、団体経営の方向性が「事業の再整理・重点化に取り組む団体」の一つである、NO. 18 (公財)寿町勤労者福祉協会については、次期協約の策定年度は 31 年度ですが、31 年 4 月からの新会館供用開始に向けて検討、取組を進めているため、今年度中に委員会で御審議いただいた方が適切として、候補としています。</p> <p>以上が、9 月から 11 月の委員会に所管局・団体に来ていただき、御審議していただく団体の案です。</p> <p>説明は以上です。よろしくお願ひします。</p> <p>ただいま、それぞれ理由を御説明いただき、選定していますが、皆さんの中でここは是非というもの、あるいはここは外してもいいのではないかと等ありましたら御意見をお願いします。</p> <p>本日の視察先の(公財)横浜市男女共同参画推進協会はお呼びしたことはありますか。</p> <p>昨年度です。次期協約の策定年度は、32 年度です。5 年ごとの横浜市男女共同参画推進計画と一致させています。</p> <p>そうでしたね。</p> <p>次期協約策定等の出席団体等についてよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
大野委員長	
事務局	
大野委員長	
大野委員長	
各委員	

	<b>(2) 団体視察</b>
大野委員長	続きますして、団体視察について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料は先ほどと同じになります。今年度の視察については、先ほど男女共同参画推進協会について視察していただきました。 これまでは2から4団体ほど視察をしていただいております、数だけで言いますと今年は1回ということと、9月の委員会までまだ日数もありますので、他に今年度視察に行きたいという団体・施設等ありましたらこの場で御希望を伺い、視察を実施したいと考えています。 資料では、一番右側の視察状況の欄に数字が書いてあるところが、これまで視察を実施した団体で、数字が実施した年度です。説明は以上です。
大野委員長	ここは視察してみたいという所がありましたら、御意見を願います。
鴨志田委員	寿町の新会館はどのような状況ですか。
事務局	現在建設中で、竣工が来年の2月予定となっておりますので、秋までの期間では建設中の段階です。
鴨志田委員	工事現場に行くだけですね。
事務局	そうですね。
鴨志田委員	少し難しいですね。分かりました。
田邊委員	工事中は利用者はどうなっているのですか。
事務局	仮設の施設があります。
鴨志田委員	仮設はどこにあるのですか。
事務局	同じ寿町のエリア内にあります。規模はそこまで大きくないです。
大野委員長	会議の席に所管課が出てくるまでもないけれど、本日の視察のように意見を聞いておいて、委員会で審議するという方法を取ってもいいわけです。
鴨志田委員	今日のところは行ってすごくイメージが出来ました。
田邊委員	施設運営型はありますか。今日の男女共同参画推進協会も、ミッションからすると施設運営は無いはずですが。
事務局	施設管理がメインになっている所は、ほとんど見ていただいております。 意味合いは少し違うと思いますが、比較的施設がメインになっているところはNO.4(公財)横浜市芸術文化振興財団です。横浜美術館などの施設があります。
田邊委員	具体的にどのような施設ですか。
事務局	過去の委員会で議論いただいたのは横浜美術館です。 市民との接点があるところでは、施設メインというわけではあ

		りませんが、NO.1(公財)横浜市国際交流協会があります。地域の外国の方との交流の場となる施設を運営しています。
田邊委員		施設管理を受けているのですか。
事務局		横浜市から受託しています。18区ではありません。
		施設を運営するために作られた団体ということでは、国際交流協会は少し違うと思います。
鴨志田委員		横浜市シルバー人材センターというのは拠点がありますよね。
事務局		以前、事務所に出向いた際には、カウンターに市民が2人ほどいらしていました。登録なのか相談なのかは分かりませんが、来られる機会はゼロではないです。
田邊委員		国の法律によって、自治体やらないといけない業務が定められているのですよね。
事務局		そうです。
大野委員長		職種とか業務が限定されていますよね。
		可能性があるのは芸術文化振興財団くらいですか。
鴨志田委員		NO.7(株)横浜国際平和会議場というのはMICE絡みですか。
事務局		パシフィコ横浜です。
田邊委員		市からは何%出資でしたか。
事務局		24.4%です。
田邊委員		大株主、筆頭ですよね。
事務局		はい。
鴨志田委員		あとは1回行きましたが、横浜市住宅供給公社の共同でやる現場ですね。
田邊委員		マンションリフォームですよね。団地再生。
田邊委員		ほとんど見ましたね。
大野委員長		特にこれぞという御意見はありませんか。
各委員		(異議なし)
大野委員長		それでは、また考えが出ましたら。
事務局		今後の審議の時でも必要が生じましたら調整します。

		<p style="text-align: center;"><b>(3) 委員会での説明方法</b></p> <p>大野委員長 事務局長</p> <p>続きまして、委員会での審議方法について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>昨年度まで、団体と所管局に委員会へ来ていただき審議を行う際の所管からの説明について、委員の皆様には事前にお読みいただいているため、説明時間については、現行の15分を5分程度に短縮し、行間や特に重点的にアピールしたいところの説明に特化していただく形がよろしいのではないかと考えています。</p> <p>当然、5分を超えることもあるかと思いますが、端的に説明するという点で、このような考えはいかがでしょうか。</p> <p>また、団体と所管局に来てもらった団体については、所管局と団体の質疑を事務局で簡単にまとめさせていただきましたが、質疑の内容によっては、特にまとめる必要がないところもあるかと思えます。議論が色々な所に行った場合など、必要な事もあるかと思えますので、これまで機械的に全て行ってきましたが、今年度は委員長の判断で、必要ないところについてはそのまま会議を進行していただき、必要があるところについては事務局でまとめさせていただくというやり方でどうかと考えています。</p> <p>細かい部分になりますが以上の2点を変更するという点について、委員会の流れを含めて御意見をいただければと思います。</p> <p>大野委員長</p> <p>いかがですか。団体の説明、細かく数字を読み上げたりして、時間をかけていることが多いですが、行間や書ききれなかった部分で重要な点、その他、私としては本来の団体の意義を説明する上でどうしてもここだけは強調したいということであれば、書かれていることを繰り返しても構わないと思います。書いてあることを言わないでということではなく、団体の存在意義なり、必要性を強調するのであればどうしてもここは言わなければならないという所があれば是非言っていただきたいと思えます。そういう説明であれば、少くも長くなっても構わないと思います。</p> <p>事務局の取りまとめについては、議論が速やかに整理されている場合は、特に改めて言う必要はないと思えますし、少し錯綜したようなところで、我々も混乱しているような場合には、違った視点から項目を挙げていただければ役立つと思えますので、委員長判断で任せていただければと思いますが、よろしいですか。</p> <p>各委員 田邊委員</p> <p>(異議なし)</p> <p>各団体の説明の中に、委員長がおっしゃられたように、ミッションだとか存在意義といった内容をしっかり言うてもらうということは、説明してもらっていいのではないかと思います。</p>
--	--	---

		<p>団体によっては民営化が適合しないところもあるわけで、そういったとき公益性をしっかりと強調してもらうことが必要で、民営化するのであれば、公益性の部分はこの程度担保できればいいと話をしてもらう。</p> <p>また、例えばベイサイドマリーナは、子どもたちが海に親しむための啓発事業をやっているようだが、それを公益性と言っているのもそれが議論のポイントだと思います。</p> <p>あとは今抱えている3つの重要課題を言ってください、みたいなのはいいかもしれないですね。色々書いてあるけれど特に重要と思われる課題を3つあげてくださいというのであれば議論のポイントになるかもしれない。</p>
	鴨志田委員	<p>説明の時のフォーマットは変わるのですか。例えば今提案があった内容をそこに入れてしまえばいいのでは。3つの重要課題とか。</p>
	事務局	<p>今のところは少なくとも今年度は変えない予定です。ただし、事前に、当日の説明はこういう内容でというのが決まりましたら、それで準備することは可能かと思います。</p>
	大野委員長	<p>それで結構だと思います。要するに色々な方針を決めて、達成目標を一生懸命説明するけれども、本当にそれは団体にとっての存在意義を説明するあるいは強調するのに必要なのであればそれを説明すればいいわけです。</p>
	事務局	<p>PDCAサイクルをまわす際に、Pの段階が、今まで十分に議論し尽くされていないからそういう問題が起きているところもあるわけですね。今回新しく方針を作っていくわけですから、それを強調できるような、あるいは重点を強く言って、これがあるから、私たちはこれを新たに目標に掲げているんですよ、あるいはこれを引き続きやるんですよということをしっかりと説明してもらえれば、議論が深まると思います。是非その辺を団体にも。</p> <p>今年度は、今、委員長におっしゃっていただいたように、37のうち30で新しい協約をつくるということで、昨年度の委員会の答申でも「使命の達成の程度を判断できる目標を」といただいていますので、その答申を受けて昨年度中から事務局から各所管局には、こういう答申があるのでしっかり次の協約には反映できるようにという説明をしていますので、今日の意見と同じことだと思います。</p>
	大野委員長	<p>そうですね、特に定量的に表現されるときに、増えることがどういう風にその団体にとって意義あることあるいは社会にとって意義あることなのかを説明していただければ、それに対する色々な議論が出来ると思います。</p>
	事務局	<p>分かりました。</p>

	<p>田邊委員</p> <p>事務局</p> <p>大野委員長</p> <p>各委員</p>	<p>3年の協約を作っているのだが、初年度で目標を達成したものをそのままにしておいて良いかという話はどこかに必要かもしれないです。それで十分ということは民間企業ならありえないです。</p> <p>また、取りまとめの時に、宿題というかこれを調べておいてくださいとか、これは後日、というのは事務局の方で必ず確認してもらう必要があると思います。</p> <p>分かりました。</p> <p>委員会での説明方法、運営の仕方について、よろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
	<p>大野委員長</p> <p>事務局</p> <p>大野委員長</p>	<p><b>4 閉会</b></p> <p>本日の議題は以上になりますが、事務局から何か連絡があればお願いします。</p> <p>先ほども申しましたとおり、各団体の審議は秋9月から11月にかけてやっていきたいと思っています。具体的な日程は改めて委員の皆さまに日程調整をお願いさせていただきます。11月下旬には答申をいただきたいと考えていますので、昨年と同じようなスケジュールで基本的にはやっていただきたいと考えています。</p> <p>それでは以上をもちまして、本日の委員会を終了します。どうもありがとうございました。</p>
<p>資 料</p>	<p>資料1：平成29年度総合評価 振り返り結果一覧</p> <p>資料2：審議方法（案）及び団体視察実施状況一覧</p>	